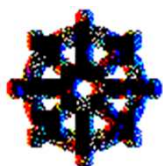


〒464-0007

名古屋市千種区竹越二丁目8番11号

真宗大谷派 香流山 大應寺

Tel(052) 711-3348 携帯電話 090-3458-1420



九月に入ってもまだ暑さは残っていますが、彼岸も間近になり朝晩の風はすっかり秋を感じさせてくれます。すでに過ごし易い季節が始まっているんですね。

今年の夏を振り返れば、猛暑日が記録的に続いたこと、前半全く降らなかった雨が後半になって局地的に豪雨となったことが思い出されます。特に八月末の豪雨は各地で観測史上最高の時間雨量を記録し、同時に多大な被害をもたらしました。いわゆる“異常気象”です。

これを自然災害、自然の猛威だと、挙句の果てに天変地異の前兆だなんて言う人もいます。あたかも自然発生的な自然現象、人力の及ばないところで生じるどうしようもない災害だと聞こえます。何が異常なのか、どうして異常になったのか、「果」が生じるには必ず「因」があるのです。

快適と利便性追求のため何かを切り捨ててきた私達の身勝手な考え方、自分たちの都合で判断してきた善悪の価値観、自然界の中でこれこそが「異常」だったのでは…? 異常なのは「気象」ではなく私達の方なのかもしれませんね。

まさに私達の“異常気性”が「因」となって変化させ、必然的に生じた結果がいわゆる“異常気象”ということでしょう。今、何に目を向けるべきなのか、本当に大事なものの大切なものとは何なのか問われているようです。



《来年春までの当院法要・行事のご案内》

★報恩講★



今年も報恩講を厳修する時節となりました。皆様、お誘い合わせの上、どうぞお集まり下さい。

報恩講とは、宗祖である親鸞聖人様が真宗を開き、尊い教えを今に伝え残して下さったことへの報恩感謝の法要で、毎年、御聖人の命日前後に厳修されます。(時節柄当院では一ヶ月繰り上げて厳修いたします)

有難い御法縁に感謝しつつ、お念仏の教えをいただきましょう。

- 日時 10月25日 午前10時半より(正信偈真四句目下 五淘次第六首)
正午 おとき(食事)
午後 1時半より(伽陀・登高座、正信偈同朋奉讃)

- 説教 勅使 英照 師